



天上はるかに

2020年9月

秋田高校東京同窓会

〒106-0032 東京都港区六本木 5-16-5
 インペリアル六本木 1001 鎌田会計事務所内
 TEL 03-5545-7775 FAX 03-5545-0087
 Mail shuko-ob-jimukyoku@shuko-ob.net
 http://www.shuko-ob.sakura.ne.jp

2020年10月24日(土)

秋田高校東京同窓会 総会

zoomにて開催

皆様、いかが御過ごでしょうか?新型コロナウイルス感染症が世界を騒がす中、あっという間に季節も変わりました。

総会もいったん中止を考えましたが、長年続けてきたからこそ、続けていきたい想いと、今の時代にあった開催方法はないか模索していった結果、ZOOM配信での開催にいたりしました。

今、人と人との繋がりや絆がより問われる中、私たち秋田高校東京同窓会の真価が問われる時だと感じております。画面越しではございますが、皆様の元気な姿を見ることで次に繋がる力を共有できればと思っております。どうぞ参加のほどよろしくお願いたします。

今回の総会はZoomというオンラインミーティングアプリを使用して実施致します。PCやスマートフォンにて参加可能です。参加者の方には別途メールにてミーティングIDとパスワードを送付させていただきます。開催前日までにご準備よろしくお願いたします。



多くの皆様のご参加をお待ちしています。

ZOOM配信

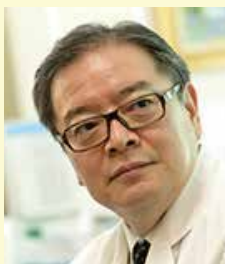
- 総会・事業報告
……………17:20～
 - 講演(瀬戸泰之氏)
……………18:00～18:50
- ※参加される方は会費払込取扱票にメールアドレスをお書きください。
ZOOMは10分前から繋がります。



講演者

瀬戸泰之氏
S52卒

東京大学大学院医学系研究科
消化管外科学 教授



東京大学医学部附属病院胃食道外科科長。1984年、東京大学医学部医学科卒業。専門分野は胃がん、食道がん。2000年医療法人明和会中通総合病院副院長、03年癌研究会附属病院消化器外科医長、05年癌研有明病院消化器外科副部長、07年同院上部消化管担当部長を経て、08年から東京大学医学部消化管外科学教授。19年から東京大学医学部附属病院院長。専門とする対象臓器は上部消化管。日本はもとより世界でも有名な胃がん・食道がん治療の専門家である。外科手術における高い技術と豊富な知識を持つ。一方、がん性疼痛に対する緩和ケアに関しても先進的な考えも持つ。胃がんや食道がんなど、日々多くの患者の治療に当たり、年間手術数100例以上をこなし、がん治療の最前線で常に戦い続けている。

橋本五郎の AKITA 元気トーク



秋田高校東京同窓会 会長
橋本 五郎 S40卒

会社の6年先輩が亡くなりました。社会部の司法担当記者として活躍、論説副委員長も務めました。78歳の生涯でした。先輩に対し、私には大きな「負い目」がありました。20年近い前のことです。胃がんのため、出演していた日本テレビの朝の番組「ジパングあさ6」「ズームイン!!朝」を続けられなくなりました。代わって白羽の矢が立ったのが先輩でした。強く難色を示したそうですが、やらざるを得ませんでした。

告別式で、初めてお会いした奥様と娘さんに、お悔やみとともに心からの感謝をお伝えしました。棺に納められた先輩の顔はとてもきれいでした。胸が苦しいと言って病院に運ばれ、そのまま帰らぬ人になったのでした。ですから病気の後に亡くなった人にありがちな病の跡がまったく見られませんでした。

帰り道、先輩と同期で、いまま会社幹部である人と車の中で話しました。「あんな顔で死にたいですね。しかも誰にも迷惑かけずに亡くなるなんて羨ましくもありますね」と言う私に対し、私の政治部時代の上司でもあった彼はこう言うのでした。「死ぬ人間として理想的だけでも、残された人にとっては何の準備もなくこの世からいなくなるのだから、辛いよね」。その通りだと思いました。そして逝く人も残された人も、ともに満足する死などないのだ、人間の力では如何ともしがたく、運命に任せるしかないと思うのでした。

令和元年 定期総会・懇親会 報告

令和元年6月29日／於：ハイアットリージェンシー東京

●講演

鈴木 伸弥 氏

S49卒

明治安田生命保険(相)

取締役会長



令和2年 新春賀詞交歓会 報告

令和2年1月25日／於：アルカディア市ヶ谷

●講演
佐藤 裕輝 氏
H16卒
株式会社ストライク勤務



佐藤邦明 H2卒

卒業から約30年、東京同窓会に初めて参加する機会をいただきました。

世代が大きくまたがる参加者の諸先輩、後輩の皆さんと会話する中で、皆さんが母校の絆を心の中で大切にしていることを感じ、また自分自身も改めてそうした気持ちを確認することができ、大変有意義な機会となりました。

特に、校是である「汝何のためにそこにありや」を久しぶりに耳にしたとき、振り返るとそうした問いをこれまで自分の人生において自ら常に問いかけてきたことから、その素晴らしい校是が自分の中で知らずのうちに脈々と流れていたことに驚くと同時に、改めて母校に育てられていたことに気づかされ、当時の先生方の顔を思い浮かべながら感謝の念で一杯となりました。

銭谷同窓会長、橋本東京同窓会長に加え、私の父の同窓生の方々とお話しできたことも、とても感慨深いものがありました。いつの時代も、秋高生がそれぞれ多様な人生を心豊かに懸命に歩んでいること、東京に居ながらも故郷秋田を大切にしていること、同窓会を旧交を温める場としてだけでなく異なる世代との会話から新たな刺激を受けていることなど、こうした同窓会ならではの意味を改めて感じることができました。

会場一杯に溢れる声で皆さんと斉唱した校歌にある通り、「敬天愛人理想を高く、おのれを修めて世のため尽くす」ことを改めて肝に銘じ、「母校のほまれを揚げよよもに」となることを念じ、また参加する機会をいただければと思います。幹事の皆さま、ありがとうございました。

成川一右 H2卒

皆さん、こんにちは。平成2年卒の成川といいます。

私は令和元年の秋田高校東京同窓会に、初めて参加させて頂きました。2015年の異動を機に東京へ転居したこともあり、参加はおろかその存在もあまりしっかりと把握できていなかったのですが、今回鈴木先輩のご講演も拝聴できるということとタイミングがうまくあったので、参加させて頂きました。

自分自身の高校時代の思い出は何といっても硬式野球部での様々な出来事になりますが、今回の同窓会で強く感じたことは、現役時代にはわからなかった先輩たちの後輩を見る熱い思いです。懇親会の中で、先輩や同窓の皆さんが登壇してお話された内容の中でも、ご自身の高校時代の思い出と野球部の軌跡を重ね合わせることで鮮明に記憶していることであったり、また自分が壇上から一言述べさせて頂き、その後降壇した後にお声がけしてもらった際に、自分以上に自分の現役時代のプレーを覚えて頂けていたことにとっても感動しました。

高校卒業後に、東京であったり様々な地域に居所を変えたり、また秋田に帰る機会が減ったとしても、現役の皆さんに熱いまなざしを送り、テレビの前や実際の競技場などで声をからして応援いただいたことに思いを馳せ、感謝の思いを改めて胸にしました。

現在あまり多くの時間をこういった活動にさけていないので、心苦しい思いもありますが、可能な限り母校や故郷に恩返しをできればと考えています。今後150周年など大きな節目を迎える中で、秋田高校東京同窓会のますますの発展を祈念しています。

寄稿

「令和元年 定期総会・懇親会」に寄せて

◆ 清水谷 尚順 H3卒

この度御縁がありまして初めて秋田高校東京同窓会に出席させて頂きました。その御縁と申しますのは、つい先年秋田高校軟式野球部時代の恩師よりご連絡を頂き『秋田高校同窓会だより』の原稿の依頼をされたことが始まりでした。そして今頃で恥ずかしながら、秋田高校東京同窓会のことを知る機会を得、入会させて頂きました。さらには『会報』の総会のお知らせで明治安田生命鈴木伸弥会長のご講演があることを知りました。実は私のお寺である浅草寺と明治安田生命様との間には深い御縁がございます。浅草寺は太平洋戦争東京大空襲で灰燼に帰しました。戦後の復興に当たり、時の浅草寺貫首で私の曾祖父清水谷恭順大僧正は、戦後の財閥解体で壊滅的となった安田生命を復興させた竹村吉右衛門先生と御縁を得ご協力を仰ぎ、そのご尽力によって浅草寺の復興がなったのであります。しかも竹村先生は秋田県大館市のご出身であります。そのような様々な深い御縁を感じ今回初めて参加させて頂きました。鈴木会長には秋田でお過ごしになられた青春時代やAIの行く末などの興味深いお話を拝聴させて頂きとても感銘を受けました。また、いつもテレビなどでその御尊顔を拝している橋本五郎先生のお話しや、諸先輩方の貴重なお話しの数々、最後に皆様と歌った秋高校歌など感激でいっぱいでした。今回初めてお会いする方ばかりではございましたが、私も諸先輩方と同じ校舎で学ばせて頂いたのかと思いますと感慨深いものがございました。今回このような貴重な御縁を頂きまして誠に感謝致します。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

寄稿

「令和2年 大学生との交流会・新春賀詞交換会」に寄せて

◆ 藤島 悠太 H29卒

今回賀詞交歓会に出席させていただいて、出席した動機はそこまで深いものではありませんでしたが、想像していた以上に様々な経験をすることができたように感じられ、非常にうれしく思っています。橋本五郎さんの「天職とは何か」という話がとても印象強く残っており、どういった職業に就きたいのかということに留まらないものの見方を教えていただいたような気がしています。さまざまな業界で活躍する大先輩の方々との交流の中で、一般的な企業説明会とは大きく異なり、和気あいあいとどんな仕事であるかや、どのような経歴のたどり方があるかについて聞くことができたのは良い経験でした。1つ残念であったのは、同世代の方々があまり参加していなかったことで、比較的時間に余裕があるはずの大学生などが参加しようと思えるような宣伝、企画、開催時期などをご検討いただけたらと思いました。私は個人的に同窓会というものがとても好きです。意図せずして構成された大きなコミュニティの中で、初めてお会いするような方々だとしても必ず1つ共通点があり、縁というものがとても奇妙なものに思われる一方で、縁というものがあるからこそ多くの出会いが生まれてくるのだと思うからです。今回はたくさんの人にお会いすることができました。これからも機会があれば参加させていただけたらと思っております。

若松 弘之 H2卒

今回初めて、秋田高校東京同窓会に参加させていただきました、平成2年卒の若松弘之です。年明けに、今野様にお目にかかったきっかけで、ほぼ飛び入り参加でしたが、先輩・後輩の方々に温かく接してもらい、とても楽しいひとときでした。秋高卒業後は、東京の大学に進学し、公認会計士として首都圏で仕事をしておりますので、もっと早く東京同窓会の存在に気がついていれば良かったです。

当日は、皆さまの前でどんな一言挨拶をすれば良いか迷っていたところ、偉大な「老松」先輩のお名前を拝見しましたので、これも世代間交流の良さだと思い、ネタにさせていただきました（老松先輩ありがとうございました！）。

10代から80代までの多様な方々が、「秋高生」という共通項で集う同窓会はとても貴重な機会だと思います。最後に合唱した校歌も感慨深いものがあり、一瞬で数十年の時間がプレイバックした感じでした！ぜひまた、参加したいと思います。ありがとうございました。

田村 健太郎 H17卒

初めて秋田高校東京同窓会に参加させていただきました。

もともと上京は仕事の関係で7年前でした。参加するまではやはり敷居が高いというか、上の方々が参加するものという勝手なイメージが先行していたのが本音です。

裕輝先輩の紹介をきっかけがなければ参加をすることは難しかったかもしれません。

上京した同じタイミングで出身地の大潟村ふるさと会の誘いが職場同郷の先輩からあり、先に大潟村の同窓会には定期的に参加していました。その中で秋田高校野球部の成川さん、阿部茂樹さん父、菅原勇正さん、菅原朗仁さんなど様々な方とお会いする中で段々と秋田高校の同窓会についても意識が出てきたのが実際のところでした。

タイミングよく出席させていただき、実際各方面で活躍されている諸先輩のお話を伺うだけでも大変有意義で楽しい時間でした。ぜひ若手で自分がそう思っていたように、出てみたいけど一歩が踏み出せていないOBはまだたくさんいると思います。

先日裕輝さん主催の若手OB会に参加させていただきました。

まずは気軽に参加してもらい、「同窓会」の素晴らしさを知ってもらうことが大事かと思えます。小職も今後このご縁を大事にしながら、微力ながら東京同窓会のために頑張りたいと思います。

今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

齋藤 菜々子 H29卒

この度は貴重な機会をありがとうございました。「大学生と社会人の交流会」では、講師の須田様から就職活動における心構えや生き方についてのアドバイスをいただき大変参考になりました。特に計画的偶発性のお話は大変強く心に残っています。その後社会人の方々に1対1で個別相談に乗っていただく時間がありました。悩みや不安に対して、真摯に向き合ってくださいまして嬉しかったです。賀詞交歓会のご案内をいただいた時、私は就職活動がいよいよ本格化しようとしている中で大きな不安を抱えておりました。今回の賀詞交歓会で、様々な業界で活躍されている先輩方からお話を聞いて、励みになりました。機会があればまた参加したいと思います。ありがとうございました。

令和1年度/寄付金を頂いた方々

- 昭和27年卒 三矢 康三
昭和30年卒 大塚 正民
昭和30年卒 秋山 文平
昭和31年卒 大本 香津子
昭和31年卒 伊勢 許吾
昭和34年卒 板倉 義男
昭和34年卒 上原 典子
昭和35年卒 小泉 忠一
昭和39年卒 二木 猛
昭和39年卒 阿部 信泰
昭和41年卒 大槻 幸一郎
昭和42年卒 大野 省治
昭和43年卒 進藤 孝生
昭和44年卒 高橋 裕次郎
昭和44年卒 秋山 正子
昭和44年卒 五代儀 俊悦
昭和47年卒 鎌田 進
昭和48年卒 東海林 豊
昭和49年卒 鈴木 伸弥
昭和50年卒 網干 博文
昭和52年卒 鈴木 久彰
昭和52年卒 伊藤 博基
昭和55年卒 佐々木 雄一
平成1年卒 諸橋 公喜
平成3年卒 清水谷 尚順



令和1年度/会費納入者一覧

平成31年4月1日~令和2年3月31日 現在

- 昭和19年 山崎 英郎
昭和20年 大友 英一
昭和22年 加藤 三朋
昭和22年 佐藤 菊夫
昭和23年 明石 康
昭和23年 小野寺 正周
昭和23年 菅原 寛治
昭和23年 星野 恒雄
昭和26年 五十嵐 泰弘
昭和26年 伊藤 隆
昭和26年 小巖 巖
昭和26年 佐々木 研吾
昭和26年 佐々木 清水
昭和26年 戸澤 弘明
昭和27年 石山 喜章
昭和27年 加藤 明男
昭和27年 高橋 恒雄
昭和27年 二木 亮
昭和27年 三矢 慶三
昭和27年 宮田 徹
昭和28年 佐竹 義信
昭和29年 日高 一雄
昭和29年 武藤 實
昭和30年 秋山 文平
昭和30年 大塚 正民
昭和30年 鈴木 妙子
昭和30年 薄田 耕二
昭和30年 高橋 捷郎
昭和30年 西山 恪朗
昭和30年 船木 孝雄
昭和31年 伊勢 諒吾
昭和31年 大本 香津子
昭和31年 柿崎 正
昭和31年 小林 京子
昭和31年 佐々木 行
昭和31年 佐藤 隆隆
昭和31年 高橋 壽夫
昭和31年 高橋 文夫
昭和31年 中川 信夫
昭和31年 中村 啓一
昭和31年 原田 善治
昭和31年 渡邊 徹
昭和32年 男鹿谷 和美
昭和32年 栗林 弘
昭和32年 庄司 忠敏
昭和32年 戸嶋 成忠
昭和32年 松田 祥男
昭和33年 今野 昭
昭和33年 熊谷 光太郎
昭和33年 高橋 紀夫
昭和34年 小沢 暁民
昭和34年 板倉 義雄
昭和34年 上原 典子
昭和34年 佐藤 宏二
昭和34年 高橋 恒松
昭和34年 武藤 良孝
昭和34年 山田 僖子
昭和35年 小泉 忠一
昭和35年 吹浦 忠正
昭和36年 金崎 史
昭和36年 佐々木 毅
昭和36年 須磨 洋次郎
昭和36年 田口 平治
昭和36年 西野 義久
昭和36年 船木 茂
昭和36年 村山 公士
昭和36年 森川 毅
昭和37年 伊藤 清信
昭和37年 柴田 捷司
昭和37年 田淵 瞭
昭和37年 渡部 宏
昭和38年 伊藤 博康
昭和38年 加賀谷 久
昭和38年 佐々木 博章
昭和38年 東海林 晃
昭和38年 鈴木 宣正
昭和38年 武田 義之
昭和38年 千葉 邦雄
昭和38年 山方 三郎
昭和38年 湯澤 邦彦
昭和39年 明石 貞一郎
昭和39年 阿部 信泰
昭和39年 桑名 斉
昭和39年 佐々木 偉義
昭和39年 佐藤 二郎
昭和39年 高橋 理輔
昭和39年 高村 國男
昭和39年 原田 幸雄
昭和39年 二木 猛
昭和40年 伊藤 弘人
昭和40年 岡本 宣子
昭和40年 加藤 弘次
昭和40年 河田 章
昭和40年 佐々木 唯夫
昭和40年 佐藤 三郎
昭和40年 中西 祥子
昭和40年 橋本 五郎
昭和40年 山田 義昭
昭和41年 大槻 幸一郎
昭和41年 加藤 貢
昭和41年 佐藤 和夫
昭和41年 猿谷 彰
昭和41年 田口 佳孝
昭和41年 成田 憲明
昭和41年 堀内 一志
昭和41年 湊 亮策
昭和42年 大野 省治
昭和42年 大森 正高
昭和42年 渋谷 潔
昭和42年 清水 光雄
昭和42年 武内 暁
昭和42年 田村 信次
昭和42年 那波 一寿
昭和42年 畑山 康幸
昭和42年 原田 賢作
昭和42年 平澤 聡
昭和42年 吉村 和就
昭和43年 石川 正幸
昭和43年 小柳 清光
昭和43年 柳坂 光
昭和43年 菅野 庄一
昭和43年 柴田 司
昭和43年 進藤 孝生
昭和43年 銭谷 真美
昭和43年 田村 真則
昭和43年 千葉 真知子
昭和43年 西岡 清一郎
昭和43年 播摩 吉男
昭和43年 松尾 正
昭和44年 秋山 正子
昭和44年 五代儀 俊悦
昭和44年 老松 秀明
昭和44年 尾形 均
昭和44年 高橋 裕次郎
昭和44年 前田 俊子
昭和45年 東海林 和彦
昭和45年 田原 清彦
昭和46年 曾我 真誠
昭和46年 成田 裕一
昭和46年 藤川 長敏
昭和47年 加賀谷 博史
昭和47年 鎌田 進
昭和47年 佐々木 誠一
昭和47年 柴田 紀彦
昭和47年 田口 博見
昭和47年 中谷 多佳子
昭和47年 三浦 明範
昭和48年 石川 俊明
昭和48年 大橋 朗
昭和48年 荻津 郁夫
昭和48年 齋藤 正範
昭和48年 神 純一
昭和48年 東海林 豊
昭和49年 白石 好
昭和49年 鈴木 伸弥
昭和49年 高橋 伸
昭和49年 高原 宏
昭和49年 館山 英昌
昭和49年 松井 利一
昭和50年 網干 博文
昭和50年 今野 仁
昭和50年 清野 多賀子
昭和50年 平野 春夫
昭和52年 伊藤 博基
昭和52年 鈴木 久彰
昭和52年 寺門 日出男
昭和53年 水澤 聡
昭和54年 小玉 正志
昭和54年 小柳 宏
昭和54年 斎藤 頼太郎
昭和55年 有路 直樹
昭和55年 佐々木 雄一
昭和56年 百瀬 和
昭和57年 佐藤 正則
昭和57年 藁谷 宏
昭和58年 青山 卯女
昭和58年 阿部 充
昭和58年 石井 浩郎
昭和58年 工藤 亨
昭和59年 伊保谷 徹
昭和59年 佐々木 良枝
昭和59年 渡部 博
昭和60年 大窪 克之
昭和60年 佐藤 直子
昭和60年 佐藤 映
昭和60年 武田 哲伸
昭和60年 西尾 薫
昭和60年 松永 敦
昭和61年 布田 孝代
昭和62年 齋藤 敬
昭和62年 仲村 吉広
平成01年 高野 真理
平成02年 佐藤 邦明
平成02年 若松 弘之
平成03年 清水谷 尚順
平成03年 渡部 由希子
平成03年 渡部 陵
平成03年 佐藤 慶
平成04年 浅野 健司
平成04年 信田 保
平成04年 横井川 奈緒
平成04年 福岡 幸恵
平成06年 佐々木 龍高
平成06年 竹内 夏奈
平成07年 小林 修子
平成08年 伊藤 正寛
平成08年 柳澤 奉享
平成11年 佐々木 孝広
平成12年 大寫 竜午
平成12年 小堀 豪太
平成12年 辻村 直也
平成12年 松本 敦志
平成13年 井田 有亮
平成14年 塩野 葵
平成14年 関 晋弥
平成15年 千種 江美子
平成15年 辻村 尚志
平成15年 山田 晃史
平成16年 小田嶋 希実
平成16年 木村 友美
平成16年 佐藤 佐知子
平成16年 佐藤 裕輝
平成16年 下山 沙希子
平成16年 松田 さゆり
平成16年 田中 啓
平成16年 高橋 範慈
平成17年 田村 健太郎
平成19年 笠原 伸之輔
平成23年 山中 佑美
平成24年 西川 あかり
平成26年 伊藤 朝貴
平成26年 佐々木 崇伊

会費納入のお願い
本会の運営は、会員の皆さんからの会費によって支えられております。毎年度の会費の納入をお願い致します。
このページには本年年度の会費納入者を掲載しております。
会費が未納の方は、本会報同封の郵便振込用紙で、年会費3,000円のお振込をお願い致します。
今年度会費納入済みの方に重複して振込用紙が同封されている場合は、申し訳ありませんが、破棄して下さい。
郵便局の口座番号は次の通りです。
00150-0-353596
「秋田高校東京同窓会」



●同窓会本部事務局だより

本部事務局長 柏木幹夫 S46卒

この冬は暖冬で、秋田市内はほとんど雪のない冬となりました。オーパス(大平山スキー場)で足馴らしでも思っておりましたが、雪不足でかかないませんでした。

うれしいニュースとしては、この4年間母校校長を務めてこられた安田浩幸氏(S54卒)が4月1日付で県教育長に内定されたことがあります。東京同窓会総会にも都度ご出席いただきましたが、同窓会活動に多大なご支援・ご協力をいただきました。感謝申し上げ、益々のご活躍をお祈りいたすところでございます。

翻って、世上は新型コロナウイルスで大騒ぎとなっておりますが、政府の要請により学校には生徒の姿が全くありません。登校禁止、部活禁止で、いつもなら新年度を前にして夢と希望、躍動感に満ちあふれるこの時期に母校はひっそりと静まり返っております。人影のない黒土の野球グラウンドが尚更だだっ広く感じられます。早くみんなで練習をやらせてあげたいものです。

東京同窓会皆様様のご健勝をお祈りいたします。(3月10日記)

●幹事長だより

東京同窓会幹事長 鎌田進 S47卒

TOKYO2020の今年、新型コロナウイルスによる世界的な影響が出ました。

この原稿は3月1日に書いています。前日の2月29日の夕方安倍総理大臣の記者会見があり、ここ2週間が大事ということで学校を休学にするなどの措置を取りました。

目に見えない細菌との闘いが始まりました。一日も早い特效薬ができることを望みます。

これから春爛漫という時期に非常に残念なことです。昔から(私の知る限り)未知のウイルスなどは中国や香港辺りから出現するのが多いと感じています。困ったものです。

さて、今年の東京同窓会は例年通り開催いたします。講師は東京大学消化管外科学教授の瀬戸泰之氏(52年卒)です。時期を得たお話が聞けることと思います。是非ご出席ください。また年号も令和になり違和感なく慣れてきました。昭和の卒業生はドンドン遠くなりになり、という状況です。平成の卒業生の皆さん! 皆さんが一番活躍して頂く時代です。どしどし意見を言ってこれからの秋田高校東京同窓会を盛り上げて下さい。期待しています。

追伸(8月8日記)

非常事態宣言が出てすぐに総会の延期を決めました。開催するかどうか悩みました。今の世の中、文明の利器があるのでZOOMを活用し開催します。